

求む!!新規会員

川口市民オンブズマン

団塊世代
歓迎!!



年齢性別
当然不問

<http://k-c-ombudsman.sakura.ne.jp/>

鳩ヶ谷市との合併により、川口市は人口582,774人、世帯数261,357、面積61.97 平方キロメートル(平成25年8月1日現在)となり、市民にとって益々、行政及び議会の役割が重要になってきます。

これまでも当会は川口市の行政及び議会による問題に取り組んできましたが、行政規模の拡大・問題の多様化等にも対応するため、新たな会員が必要になっています。

行政及び議会のあり方に興味、または意見のある方、市民の立場から行政を動かしたいと考えている方、そして行政及び議会の不正は許さないという方、年齢、職業などにこだわりません。

当会は普通の市民が、普通の市民感覚をもとに様々な活動をしています。あなたの経験や想いを市民活動に活かしませんか。

毎月第3土曜日13:00～
かわぐち市民パートナーステーションで定例会を開催しています!!



オムブズマン参加から始めませんか!?

新聞各紙が当会活動を紹介!! あなたの活動も新聞に掲載されるかも!?

①川口市議会・政務調査費

朝日・読売・毎日・東京・埼玉新聞に多数掲載

②川口市議会の議員評価

朝日(H23年3月4日)・毎日新聞(H23年3月8日)に掲載

③選挙の公費負担ムダ使い防止

朝日新聞(H23年2月10日・3月1・30日)に掲載

④川口市による名誉市民の公的葬儀

朝日新聞(H24年9月2日・12月8日)・毎日新聞(H24年9月8日)に掲載

④市長選挙前に市財政と市長の選挙公約を評価

朝日新聞(H25年4月20日)に掲載



朝日新聞

2013年(平成25年)5月16日 木曜日 13版 第2埼玉 28

市議の政務調査費 62万円を返還勧告

川口市監査委

川口市監査委員は、市議の2009年度分の政務調査費について総額62万8千円余の不当支出を認定し、6月7日までに返還命令措置を講ずるよう市長に勧告した。市民団体「川口市市民オンブズマン」(村松幹雄代表)が3月に請求した住民監査に基づく対応だ。市民オンブズマンは広報費と広聴費に絞り、2会派33議員に約1100万円の返還を求めていた。市議会には、判断が難しい項目には「二分の一の費用案分」の使途基準があり、即した運用を指摘していた。

記事をはじめ、自己紹介や役職退任あいさつ、関連写真を「過大」とした。広聴費では、1会派のお

茶代の全額支出を取り上げたが、監査期間中に半額分となる約8万4千円が市に自主返還されたという。2人の監査委員は、議員の報告書の中には、印刷枚数や支出内容などの記載に不十分なものがあつたと指摘。明確な記載と資料添付の必要性を促している。(伊藤典俊)

川口市長選の投票日が1カ月後に迫った19日、市民団体「川口市市民オンブズマン」(村松幹雄代表)が、市の財政事情や現職の公約進行状況を載せた選挙向け会報を発行した。オンブズマンの立場で市政情報を提供し、市民に関心を高めようという狙いという。「市民に見えたか?」かわぐち市政」と題し、ホームページへの掲載と同時に、印刷物にしてJR川口駅前の市民パートナーズステーションに置いた。

財政・公約状況 市長選前に点検 川口のオンブズが会報

市長は40の公約を掲げて当選した。市によると「達成済み」と「進行中」が20項目ずつで、進捗率は79・80%。会報は評価結果を確認しながら、市民が独自の観点で評価できる記入欄を設けた。

「例えば、『留守家庭児童保育室の待機児童をゼロに』という公約で『達成済み』という結果を、保護者たちはどう評価するのか」と会員たち。「興味や関心がある項目だけでもチェックしてほしい」と話す。市長選挙費は1億1700

埼玉 13版 2013年(平成25年)4月20日 土曜日 享月 薬斤

007、11年度の普通会計決算を家計に例えて比較検討した。自主財源比率の落ち込みや義務的経費の支出増などから、今後の財政運営の自主性や安定性、柔軟性への懸念を示している。4年前、岡村幸四郎・現